

森と水の守り人の活動報告



2022年2月12日
森と水の守り人

大岩岳から望む千苳貯水池



1. 森と水の守り人とは



(1) 目的

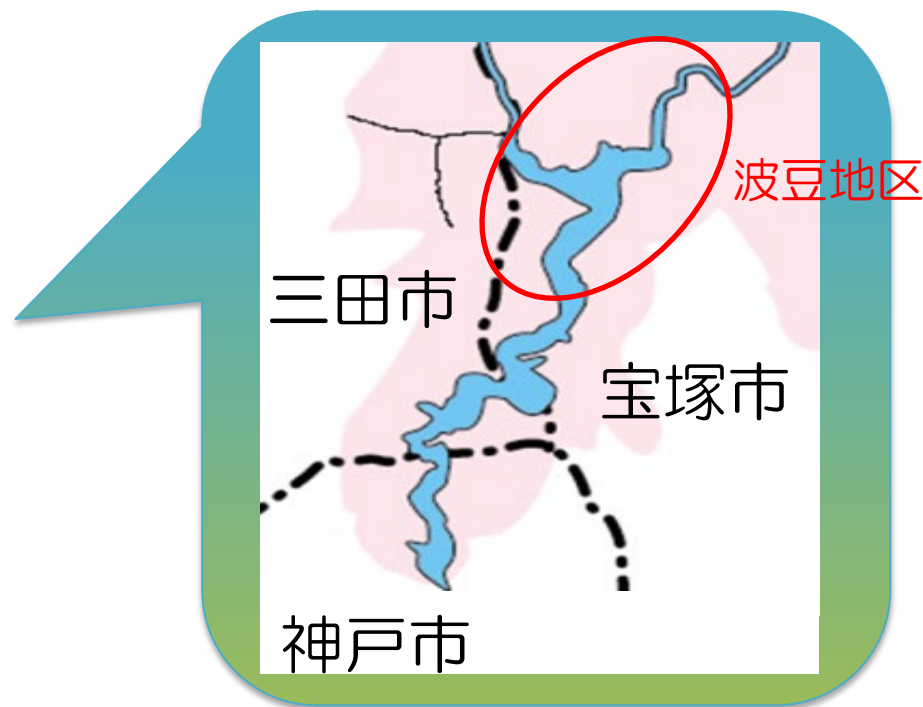
3市にまたがる千叅貯水池周辺の水源林を保全する活動

【森林環境保全】を目的とした**森林ボランティア団体**

(2) 活動場所

宝塚市波豆地区

(千叅貯水池周辺)





1. 森と水の守り人とは



(3) 活動内容

コナラ等の落葉樹を中心とした**明るい森づくり**

具体的には・・・

人間による管理が長年放置され、荒れた里山に

ふたたび手を加えて、明るい森をつくることで

山が本来持っているチカラを取り戻すことを目指します



1. 森と水の守り人とは



(4) 年間整備目標

活動地域の森林のうち約0.5haを整備保全する。

(5) 期待される効果

明るい森をつくることにより、**下草の育ちやすい森**になることで、
森林環境保全につながる。さらには水源林の涵養(かんよう)能力 (**保水力・
浄化力**) の**回復・向上**が期待される。



1. 森と水の守り人とは



(6) 活動の特徴

森と水の守り人の活動分野は「森林保全」「水源保全」「環境保全」を
エス・ディー・ジーズ
中心としており、国際的な取り組みである持続可能な開発目標SDGsでは
2030年までにゴールを目指す17の目標のうち、

目標6【水・衛生】

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

目標15【陸上資源】

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、
砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

を意識した活動をしています。



1. 森と水の守り人とは



(6) 活動の特徴

日頃の活動においては、植生調査や講習を実施し、定期的に専門家の方に指導していただくことで、技術力を高めるとともに、日頃の活動成果を確認する。

また、有志のメンバーにて、集会等で人が集まりやすい所に行く際には、活動案内（チラシ）を持参・配布し、活動者の増員につなげる。



1. 森と水の守り人とは



(7) 活動メンバー

30代～70代の自然が好きな老若男女で構成
ほぼ全員、仕事は別にしており、都合のつく人が
週末のこの活動に参加（1回の活動は約8人前後参加）
活動内容（作業の危険性も含め）を理解したうえで
活動者の子どもが参加したり、知り合いが参加したりと
口コミで参加者が増えている。

ココ大事

活動メンバーの平均年齢が
年々若返っているごく稀な団体

2. 里山周辺環境の特徴



(1) 里山及び周辺環境の特徴

活動前の現地は、長年に渡り、手が加えられておらず、荒れた森林になっていた。また、斜面の崩落場所も数か所みられた。

令和元年度より本格的に作業を行っているが、対象地域が作業量に比べて膨大であり、まだまだ作業可能なフィールドがある。

2. 里山周辺環境の特徴



写真 光の入らない薄暗い通路

2. 里山周辺環境の特徴

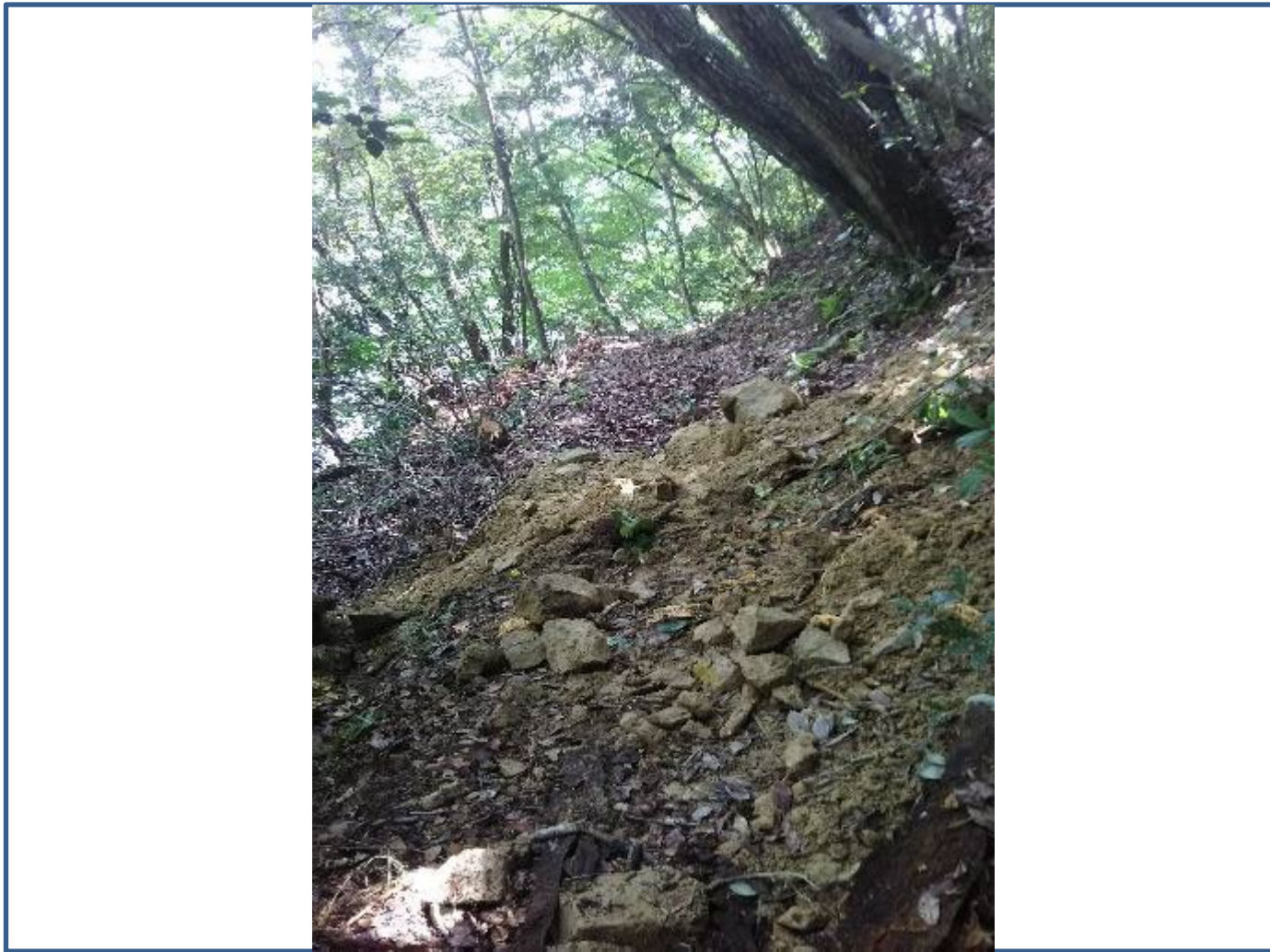


写真 通路への土砂崩れ

2. 里山周辺環境の特徴



写真 暴風雨で倒れ通路を遮る木

2. 里山周辺環境の特徴



(2) 目標とする里山林の姿

落葉樹を中心とした明るい森づくり（基本的には、常緑樹を伐採し、落葉樹を残す）を目指す。除伐した木は、可能な限り、**葉・小枝・枝・幹に分類**し、活動地周辺に整理する。

斜面の崩壊箇所では通路・迂回路・階段の整備なども適宜行う。

2. 里山周辺環境の特徴



(3) 里山林を構成する樹木

コナラ、アベマキ、コバノミツバツツジ、アラカシ、ヒサカキ、ネズミモチ、ヤブツバキ、ソヨゴなど

(4) 里山の管理方法について

- ① 景観の阻害要因となっている常緑樹（アラカシ、ヒサカキ、ソヨゴ等）、笹類、つる植物、シダ類の一部（ウラジロ、コシダ）、竹類を伐採
- ② コナラ、アベマキなどの落葉樹を中心とした里山にする



3. 活動状況

作業の進め方

- ①参加者のうち、リーダーを設定し、リーダーを中心に、
作業場所を決める
- ②班員みんなで「植生観察」をする
どんな木があって、どのような林にしたいか？
どの木を切って、どの木を残すか？
- ③作業の進め方を決めて、始める
安全に切れない木は無理せず残す
- ④作業中も、声をかけあって、みんなの動きを把握する



3. 活動状況

作業の進め方

⑤「危ない！」ことがあったときは、まずは安全を確保し、

作業中、作業後 問わずに情報を共有する

- なぜ、そのような状況になったのか？
- つぎに同じような状況となった場合、どうすれば回避できるか？

私たちの活動モットーである

確実に！安全に！楽しく！

作業するために決めたことは守る



4. 今後の活動



(1) 継続した活動

ひと月に1～2回程度の活動を予定している

第一日曜日と第三土曜日（連休は除く）

量よりも質を重視した活動を意識し、継続する

(2) 活動方法の確認

①植生管理方法の学習 → 色々な講習会や勉強会への参加

②植生調査 → 毎年、調査を行い、植生の変化を確認

③伐採技術の習得 → 現地での作業にて習得していく

5. 継続した団体になるために



★会員の募集

- ①知識・経験不問
- ②森林ボランティア活動に興味がある方・自然が好きな方
- ③自己の責任において森林ボランティア活動を問題なく行える方
- ④現地に直接集合できる方
- ⑤作業をするうえでの約束事を守れる方（原則、手ノコ・ハサミでの作業となり、チェーンソーを使用するには条件があるetc）

活動メンバーの平均年齢が年々若返っているごく稀な団体

色んな職種メンバーがいるので、普段困ったことの相談など他愛のない話をしながら作業もできます。